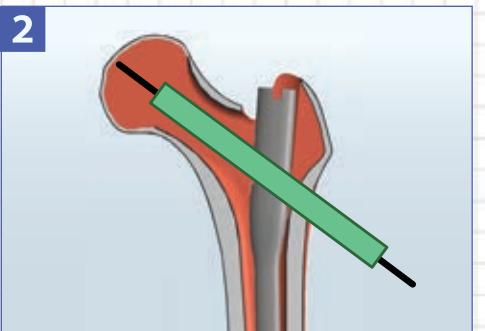
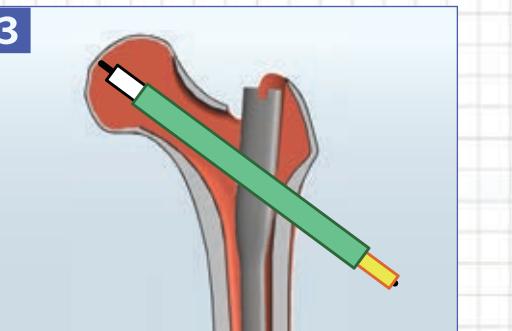


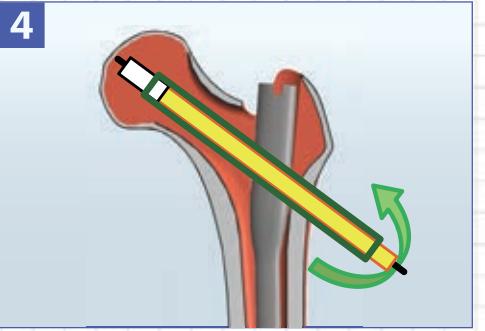
AF挿入用インサータセット改良型(内筒と外筒の組み合わせ)をラグスクリューの計測とステップドリルでのリーミング後にガイドワイヤー越しに挿入する。(ステップドリルの先端位置と同等まで)



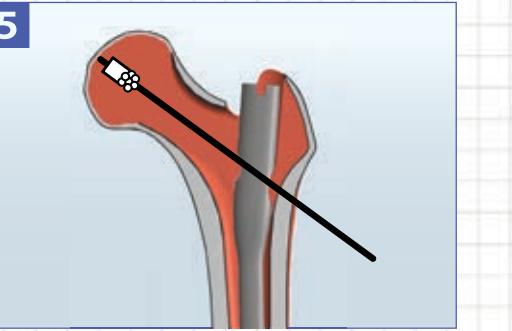
手前の内筒部分のみ引き出す。



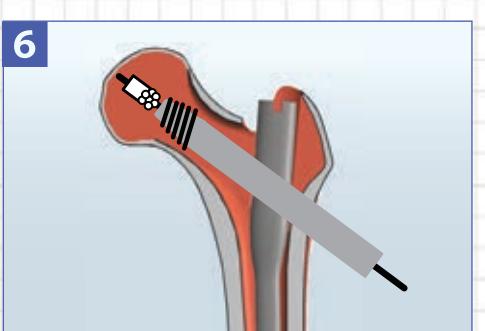
AFの収納プラケースの白いゴム栓を外してガイドワイヤー越しに差し込む。AFの収納プラケースの青いゴム栓を外して内筒で至適位置まで押し込む。(青いゴム栓を外す際にAFの脱落に注意する。)



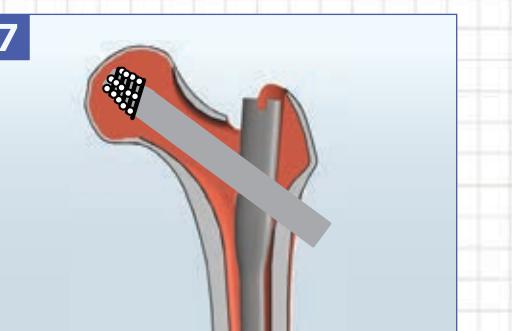
インサータ内筒の最終押し込み時に右回しに90度回旋させながら押し込み、AFの一部を破碎する。



インサータ内筒・外筒を抜去する。



ラグスクリュー挿入する。

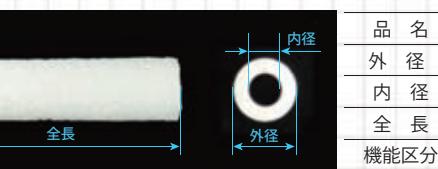


AFがラグスクリュー先端部で拡散する。

上記の手順で挿入するが、ガイドワイヤー越しに挿入するので操作性は非常に簡単である。

AnchorFix製品仕様

アパセラム-FX



品名	R-725 (AnchorFix)
外径	7mm
内径	3.5mm
全長	25mm
機能区分	AB-19

AnchorFix インサータ



販売名：ユニコーンネイル（滅菌済）
医療用品 04. 整形用品 高度管理医療機器（クラスIII）
体内固定用大腿骨脛内釘
医療機器承認番号：22700BZX00280000

再使用禁止

販売名：アパセラム-FX
医療用品 04. 整形用品 高度管理医療機器（クラスIII）
人工骨インプラント
医療機器承認番号：22200BZX00814000

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・本品単独での骨補填

販売名：AnchorFix インサータ
医療器具 58. 整形用器械器具 一般医療機器（クラスI）
骨手術用器械
医療機器届出番号：13B1X10173232101

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・本品単独での骨補填

より良い製品を、より早く、より多くの方にお届けし、患者様のQOL獲得を使命として日本の医療と社会に貢献します。

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-28-4
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711 URL www.hoyatechnosurgical.co.jp

東京営業所 TEL 03-5369-1710
新潟営業所 TEL 025-288-0086
大阪営業所 TEL 06-6267-5222
福岡営業所 TEL 092-262-6320

アンカーフィックスの使用経験

宝塚市立病院 整形外科部長 糸原 仁 先生

日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

転子部骨折に対する新たなソリューションを求めて
～高齢者、超高齢者の粗鬆骨に対する固定性向上～

転子部骨折の合併症軽減要素として、①整復位の獲得 ②インプラントのデザイン ③インプラントの至適位置の確保が重要であることは既に広く認知されつつあり、特に後壁骨片を有する不安定型骨折症例においては、髓内型は髓外型に整復し骨性支持(bone contact)を得る事で過剰なテレスコピングを防止する事とミドルレンジネイル(※髓腔狭窄部 イスムスを越えてネイルを挿入して2本の横止めを行う)を使用してサジタルスイングモーションを軽減する事によって更なる安定性が得られる事が明らかになってきている。

上記以外の合併症の一つに骨粗鬆症による骨質の脆弱化を起因とした中枢骨片の術後内反や回旋による転位が挙げられる。

今回我々は HOYA Technosurgical株式会社より新たに市場導入されたラグスクリュー用人工骨アンカーフィックス(以下AF)を先行的に使用する機会を得たのでその操作方法と短期使用成績に簡略ではあるが文献的考察を加えて報告する。

AFはハイドロキシアパタイト(以下HA)の顆粒状(1.0mm~1.5mm)のものを円筒形に形成し焼成(焼き固めた)したラグスクリュー専用の人工骨補てん材である。

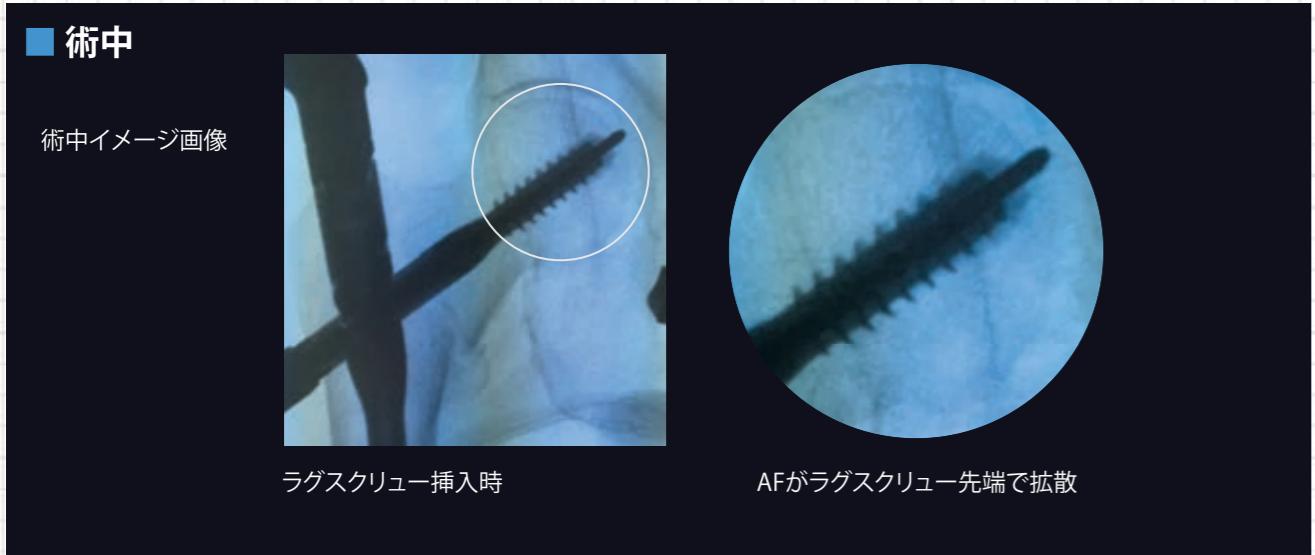
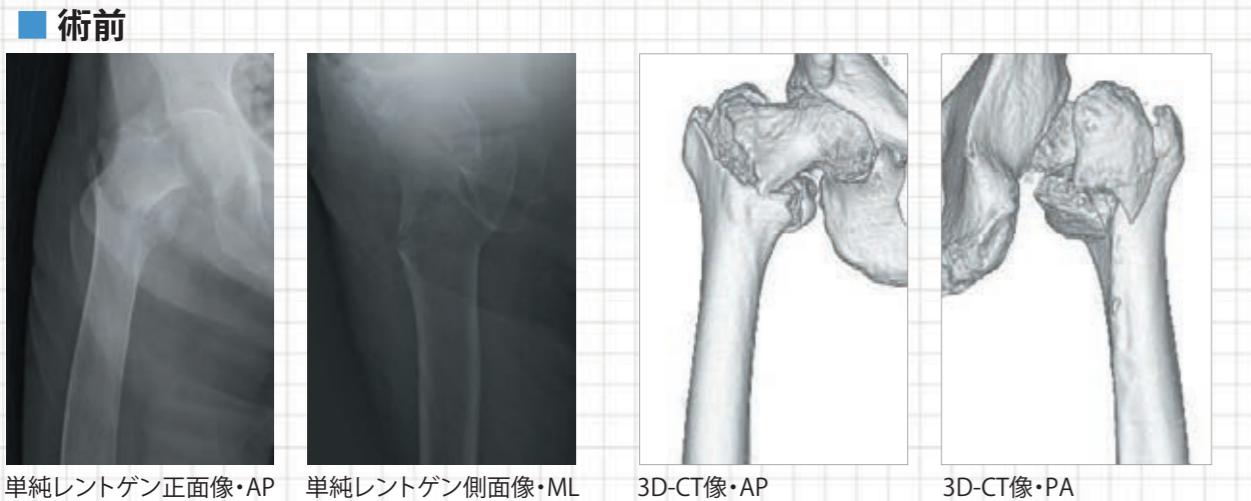
骨欠損や著しい骨粗鬆骨に対する骨補填(自家骨補填含む)は一般的になりつつあるが、転子部骨折においてラグスクリューと併用する取り扱いし易い中空構造を有する人工骨の使用はその固定性や安全性に関しての臨床データは乏しいのが現状である。インプラントデザインの改良による固定性向上と併せて骨母床側の骨密度向上による工夫によって固定性向上の検討も必要と考える。

模擬骨を使用した固定性評価データ(バイオメカテスト)ではAFを使用する事で内反抵抗性が1.3倍、回旋抵抗性が1.4倍と明らかに優位な数値を示しており臨床での評価が期待できる。

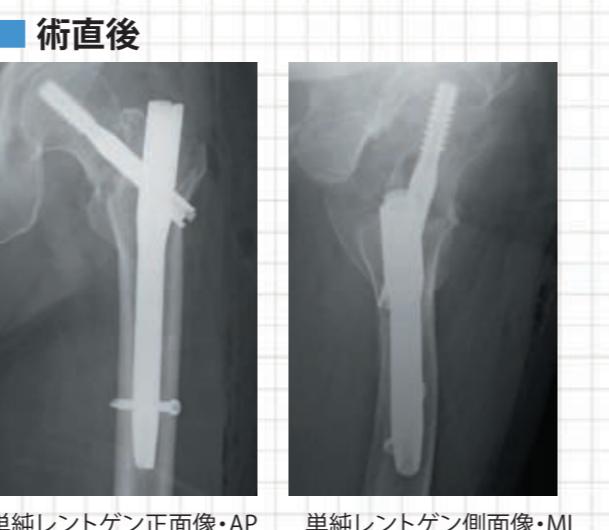


I will show the case

症例 1 90代 女性 右大腿骨転子部骨折
AO/OTA分類 31-A2.2 中野分類 3part-GL
ユニコーンネイル 230mm・125°・遠位径10mm使用



症例 2 90代 女性 左大腿骨転子部骨折
AO/OTA分類 31-A1.2 中野分類 3part-GB
ユニコーンネイル 160mm・125°・遠位径10mm使用



症例 3 90代 女性 右大腿骨転子部骨折
AO/OTA分類 31-A1.2 中野分類 2part
ユニコーンネイル 160mm・125°・遠位径10mm使用

